

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は 2024 年度日本陸上競技連盟規則ならびに本大会申し合わせ事項に従って行う。

2. 対校の部における正選手の変更

対校の部における正選手の変更は、前日の代表者会議でのみ行う。

3. 招集について

- ・競技者は指定された時間までに 1 次点呼(○付け)を行い、その後、各競技開始場所に直接集合すること。1 次点呼・現地集合時刻は以下の通りとする。
- ・召集開始時刻、召集終了時刻は、すべて競技開始時刻を基準に以下のように定める。

	召集開始時刻	召集終了時刻
トラック種目	40 分前	20 分前
フィールド種目	40 分前	30 分前
棒高跳	70 分前	60 分前

- ・1 次点呼(○付け)場所は、100m スタート側のゲート付近に設ける。
- ・3000m 以上の競技に出場する選手は、シューズの厚さ検定と自身のレーンナンバーの書かれたビブスの配布をもって 1 次点呼とする。
- ・指定された時間までに 1 次点呼を行わない、または指定された時間までに競技開始場所にいなかった競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。
- ・同一時間に複数種目出場する場合、その旨をあらかじめ競技者係に伝えておくこと。

4. リレー競技

- ・リレーのオーダー用紙は、競技者係受付にある「リレーオーダー用紙」に記入し、1 次点呼終了時刻の 1 時間前までに競技者係に提出すること。

5. フィールド種目の試技

- ・フィールド種目の対校の部については試技数を 6 回とし、前半 3 回の試技で有効試技が一つもない競技者は後半の試技を認めない。オープン部の部については 3 回とする。
- ・走高跳、棒高跳のバーの上げ方、ならびに三段跳の踏切り板の位置については、前日の代表者会議において決定する。

6. 競技用器具

- ・用器具は原則として競技場のものを使用すること。ただし、ポール・やりについては各自で持ち込んだものの使用を認めるが、やりに関しては審判の検定を受けること。検定の時間は競技開始 1 時間前までとする。
- ・競技場は全天候舗装であるので、スパイクのピンは 9mm 以下のものを使用すること。ただし、走高跳、やり投では 12mm 以下のものを使用すること。

7. 対校得点

対校戦の順位と得点は以下のように定める。

	1 位	2 位	3 位	4 位
個人種目	4 点	3 点	2 点	1 点
リレー	4 点	1 点	-	-

8. ナンバーカードについて

- ・北海道大学は 100 番台、東北大学は 200 番台とする。登録が 100 名を超える場合は、それぞれ 1000 番台、2000 番台を使用すること。また、男子選手は黒字の、女子選手は赤字のゼッケンを使用すること。
- ・他大学の学生については、各自で割り当てられた番号を用意すること。
- ・3000m 以上の競技に出場する者は、通しナンバーカードを使用すること。(召集の際に競技者係より配布される。) レース終了後は、速やかに回収すること。
- ・走高跳、棒高跳については、背・胸のいずれか一方でよい。

9. 棄権について

- ・対校種目に出場する競技者の棄権については原則として、前日の代表者会議でのみ受け付ける。
- ・OP 種目出場者が棄権する場合は、1 次点呼の締め切り時刻までに競技者係まで申し出ること。

10. 抗議について(競技規定第 146 条参照)

競技進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者、またはその代理人より、結果が正式発表(アナウンス)されてから 30 分以内に、担当総務員を通じて口頭で審判長になされなければならない。審判長の裁定に不服がある場合には、上訴申立書と預託金 1 万円を添えて上訴審判員に上告することができる。

11. 陸上競技場使用上の注意

- ・開門時間は 7:00 とする。
- ・朝のトラックを使用しての練習は、8:45 までとする。ただし開会式が行われる 8:30 以降は、ホームストレートを使用しての練習は禁止とする。
- ・当該種目競技者以外は、競技エリアへの立ち入りは禁止する。
- ・3000m 以上の競技中はバックストレートの 7 レーンから 8 レーンを練習場所として使用してよい。

12. シューズについて

- ・各競技者は日本陸上競技連盟陸上競技規則 TR5 に基づいたシューズを着用すること。
- ・以下の表は日本陸上競技連盟陸上競技規則より抜粋した靴底の最大の厚さである。
これ以上の厚さのシューズで出走することはできず、仮に基準より重い靴で競技を行った場合は競技規則に基づいて失格となるので注意すること。

種目	靴底の最大の厚さ	要件・備考
フィールド種目(三段跳を除く)	20mm	全投てき種目と高さを競う跳躍種目および三段跳を除く、長さを競う跳躍種目に適用。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
ハードル種目を含む 100m 以上のトラック種目	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。

障害物競争を含む 800m 以上のトラック種目	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じとする。
競歩種目	40mm	

13. その他

- ・大会期間中、競技者は大会本部前の通行を禁止する。
- ・競技者の衣類の管理は、すべて各自で行うこと。※役員・補助員による運搬は行わない。
- ・盗難・紛失について、主催者で受領した物品等については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。なお、主催者で受領した物品等は大会本部で管理する。
- ・応急処置について 競技中の事故等による身体の故障の場合、医務員が応急処置を行うが、その後の治療等は本人負担とする（競技者保険の適用）。また、事故の結果について本連盟は一切責任を負わない。医務室は、大会本部に設置してある。
- ・大会期間中に出たゴミは、必ず各自で持ち帰ること。
- ・不審者・不審物等を発見したら、大会本部まで連絡すること。
- ・その他、不明な点は大会本部まで問い合わせること。